

外国人のニーズと振り返りを 重視した指導法を研修する講座

スケジュール表

於・聖徳大学 10 号館

回	月日	曜	時間帯	場所	形態	授業内容	講師
1	5/30	土	13:30～ 16:30	10 号館 5F	講義/ 演習	(オリエンテーション) 外国人のニーズと生活行動	北村
2	6/6	土	13:30～ 16:30	10 号館 5F	講義/ 演習	生活を支える活動と、会話指導法 ～英会話教育の場合の Can-do 視点から	青山
3	6/13	土	13:30～ 16:30	10 号館 5F	講義/ 演習	指導と評価の融合 ～振り返りの工夫と指導への活用	北村
4	6/20	土	13:30～ 16:30	10 号館 5F	講義/ 演習	「文化庁 5 点セット」の意義 ～その内容と活用のヒント	加藤
5	6/27	土	13:30～ 16:30	10 号館 5F	講義/ 演習	教室における実践指導 ～ニーズに答える指導改善方法	加藤
6	7/4	土	13:30～ 16:30	10 号館 5F	講義/ 演習	Can-do 型授業の実践例 ～有用と思われる指導手順と振り返り	北村
7	7/11	土	13:30～ 16:30	10 号館 5F	講義/ 演習	会話とコミュニケーション ～ポライトネス理論から探る会話能力	青山
8	7/18	土	13:30～ 16:30	10 号館 5F	講義/ 演習	「人とつながる日本語」指導とは？ ～「通じる」だけではない会話能力	嶋田
9	7/25	土	13:30～ 16:30	10 号館 5F	講義/ 演習	2 つの評価方法と振り返りシート ～教室活動の活性化を目指して	北村
10	8/1	土	13:30～ 16:30	10 号館 5F	講義/ 演習	(総括) 再確認！ 外国人のニーズと学習目標の不可分	北村

※ 諸般の事情により、講師・日程の一部に変更が出る場合もあります。

【担当講師】北村 弘明(聖徳大学言語文化研究所教授)

嶋田 和子(アクラス日本語教育研究所代表理事)

加藤 早苗(インターカルト日本語学校校長)

青山 みゆき(元聖徳大学准教授)

※都合により内容・講師の変更がある場合があります。

平成27年度

文化庁日本語教育委託事業

聖徳大学言語文化研究所主催

外国人のニーズと振り返りを重視した指導法を研修する講座

【講座内容】 外国人が「日本語で本当に話したいことは何か」を再考しながら、生活行動に根ざした Can-do 型会話の実践例を、その評価法と共に探っていきます。「何のための日本語学習か？」を大切に考えます。

【期 間】 平成 27 年 5 月 30 日(土) ～8 月 1 日(土) 毎土曜日 13 時 30 分～16 時 30 分 (全 10 回)

【場 所】 聖徳大学 10 号館 5F 教室 (千葉県松戸市) 松戸駅東口より徒歩 1 分

【募集人員】 45 名 (申し込み多数の場合には、書類選考をおこなうこともあります)

【応募資格】 地域でのボランティア日本語教育に 2 年以上従事している方。また、これまで日本語指導をしてきた経験を踏まえ、外国人の生活行動を支える日本語指導法に関心のある方。

【参 加 費】 無料 (ただし、初回に 配付物印刷実費 3,000 円をお支払い下さい)

【応募方法】 封筒に別紙の申込用紙 (必要事項記入) と返信用封筒 (82 円切手を添付し、受取人住所氏名を明記のこと) を入れ、下記宛先にお申し込みください。

申込書・スケジュール表はこちらからダウンロードできます

<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>

(宛先) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550 聖徳大学知財戦略課 日本語教育研修講座係

(※切) **平成 27 年 5 月 20 日 (水) 当日消印有効**

(お問い合わせ) 聖徳大学 Tel 047 (365) 1111 (大代) 知財戦略課

メールアドレス chizai@seitoku.ac.jp

※5 月 26 日 (火) 頃までに、受講の可否を、折り返し通知いたします。

【講 師】 北村 弘明(聖徳大学言語文化研究所教授)
嶋田 和子(アクラス日本語教育研究所代表理事)
加藤 早苗(インターカルト日本語学校校長)
青山みゆき(元聖徳大学准教授)

※都合により講師の変更がある場合もあります。

聖徳大学言語文化研究所

平成 27 年度 文化庁日本語教育委託事業

外国人のニーズと振り返りを重視した
指導法を研修する講座

募 集 要 項

聖徳大学言語文化研究所

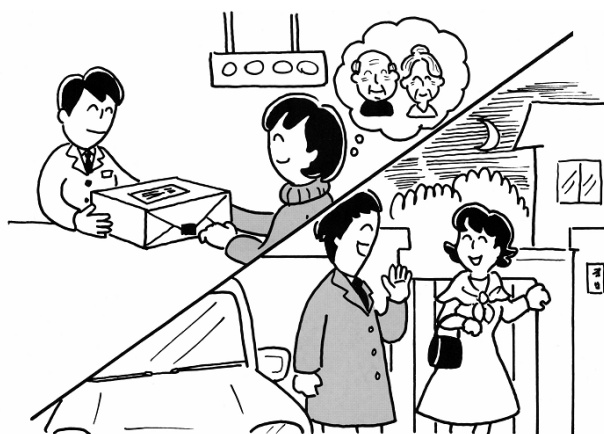
「何のための日本語学習なのかを再確認するために」

平成 27 年度文化庁日本語教育委託事業の取り組みの 1 つとして、聖徳大学言語文化研究所では「日本語教育を行う人材の養成・研修講座」を開催することといたしました。

今回の講座の主な目標は以下の 2 つです。

- 1 外国人の生活行動から探るニーズを正確に把握し、Can-do 型会話に反映する方法を研修する。
- 2 授業評価のあり方を「振り返りシート」の活用から指導者・学習者、双方の立場からおこなう方法を研修する。

「文型の表面的意味を説明するだけの指導」を実践的な Can-do 型の実践的な日常会話とするため、これまで文の「機能」の問題について多くの検討を重ねてきましたが、今回は、この「機能」を場面との関係と密接に結び付け、より有効性のある会話のモチベーションとすることを研修します。



これまでの本学の文化庁委託事業ではこうした研究を積み重ねてきたところですが、改良された Can-do 型会話例文の内容一覧を反省的に眺めると、指導者の生活観から抜け出せていない面もあり、外国人の立場に立ってその有効性を考えるところに至っていない点も散見されます。また、その会話例文を単に丸暗記して覚え込ませる、というだけの手法にも陥りやすい点も注意しなくてはなりません。本講座では、こうした事情を踏まえ、本当の外国人のニーズに沿った Can-do 型授業活動ができる指導手順を研修します。

講座を「実習・参加型」の形態として、単なる“座学”ではなく、具体的な教室活動として教授法や指導手順を実践的に学びます。

地域日本語教育について、前向きな問題意識をお持ちになっていらっしゃる方々の積極的な参加をお待ちしております。

記

【期間】 平成 27 年 5 月 30 日(土) ～8 月 1 日(土)

毎週土曜日 13 時 30 分～16 時 30 分 (全 10 回)

【場所】 聖徳大学 10 号館 5F 教室（千葉県松戸市） 松戸駅東口より徒歩 1 分

【研修目標と内容】 詳しい講座内容は、採択された方に後日郵送いたします。

構文指導用の教科書に縛られることなく、在住外国人に日本語を教える目的・意義を自覚しながら、外国人の生活行動を実現する会話力(Can-do 型会話)と評価法を重視した日本語会話の指導法を研修します。

【担当予定講師】

北村 弘明(聖徳大学言語文化研究所教授)

嶋田 和子(アクラス日本語教育研究所代表理事)

加藤早苗(インターカルト日本語学校校長) ほか

※都合により講師の変更がある場合もあります。

【募集人員】 45 名（申し込み多数の場合には、書類選考をおこなうこともあります）

【応募資格】 地域でのボランティア日本語教育に 2 年以上従事している方。また、これまで日本語指導をしてきた経験を踏まえ、外国人の生活行動を支える日本語指導法に関心のある方。

【参加費】 無料（ただし、初回に配付物印刷実費を 3,000 円お支払い下さい）

【応募方法】 封筒に別紙の申込用紙（必要事項記入）と 返信用封筒（後日、受講の可否を折り返し通知するもの。82 円切手を添付し、受取人住所氏名を明記）を入れ、下記宛にお申し込みください。

（宛先）〒271-8555

千葉県松戸市岩瀬 550 聖徳大学 知財戦略課 日本語教育研修講座係

（切）平成 27 年 5 月 20 日（水）当日消印有効

（お問い合わせ）聖徳大学 知財戦略課 TEL 047（365）1111（大代表）

メールアドレス chizai@seitoku.ac.jp

※お送りいただいた申込書等は、受講の可否を問わず、ご返却いたしません。

個人情報につきましては、本目的以外に使用することはありません。

また、書類に不備のある場合は、受講不可となる場合もありますのでご注意ください。

5 月 26 日（火）頃までに、受講の可否を折り返し通知いたします。

申込書・スケジュール予定表はこちらからダウンロードできます↓

<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>

※受講採択された方には、後日、詳しいご案内をお送りします。

平成 27 年度 文化庁日本語教育委託事業

聖徳大学言語文化研究所主催

外国人のニーズと振り返りを重視した指導法を研修する講座

申 込 書

平成 27 年 5 月 日

(ふりがな)

氏 名 _____ 男・女 _____ 歳

〒 _____

住 所 _____

電話番号 _____

※メールアドレス (P C、携帯電話)

P C _____ 携帯電話 _____
_____ @ _____ @

所属団体名 _____ (日本語教育機関やボランティア団体等に参加されている方はお書きください)

■以下の項目についてお書き下さい。(講座運営の参考にいたします)

1. 日本語教育研修歴 (小規模な研修でもかまいません)

2. 日本語教育活動歴 (有給・無給・期間の長短を問いません)

3. ボランティア日本語教室において、日本語を教える目的について、どう思いますか。

あなたの考えをお聞かせください。

※上記の個人情報は、本目的のため以外に使用することはありません。

にほんご きょうしつ

Japanese Language class

☐ せいとくだいがく 聖徳大学 ちばけんまつどし (千葉県松戸市1169) ごうかん 10号館 5F
 Seitoku University Building No.10 5F
まつどえきひがしぐち とほぶん
 松戸駅 東口 徒歩1分
 It's a minute walk from JR Matsudo station.



☐ げつようび 月曜日 Monday afternoon 13 : 30~15 : 30 (15 かい 回)

きんようび
 金曜日 Friday evening 18 : 30~20 : 30 (15 かい 回)

☐ むりよう 無料 ¥ 0 Free

☐ がくしゅうしゃ 学 習 者 たいせつ のニーズを大切に にほんごじゅぎょう した日本語授 業 をします

月曜日 Monday 13 : 30-15 : 30					
1	5/25	6	6/29	11	8/17
2	6/ 1	7	7/ 6	12	8/24
3	6/ 8	8	7/13	13	8/31
4	6/15	9	7/27	14	9/ 7
5	6/22	10	8/ 3	15	9/14

金曜日 Friday 18 : 30-20 : 30					
1	5/29	6	7/ 3	11	8/ 7
2	6/ 5	7	7/10	12	8/21
3	6/12	8	7/17	13	8/28
4	6/19	9	7/24	14	9/ 4
5	6/26	10	7/31	15	9/11

お問い合わせ : ちいき 地域コーディネーター まなべ (manabe)

✉ seitoku2015@gmail.com

TEL 090-3206-7737